

# 2006年度第5回日本学生オリエンテリング連盟幹事会議事録

2007年3月11日(日)

広報部長 高瀬 悠太

## 1. 自己紹介

省略

## 2. インカレにおけるドーピング検査について

### <背景>

日本アンチドーピング委員会(JADA)から、インカレでドーピング検査をして欲しいという依頼があり、インカレ実行委員会と協議した結果、実施することに決まった。そして、1ヶ月前の要項3にその旨を載せた。しかし、初めてのことであったため、学生側にちょっとした混乱が起こった。

### <今後>

今後も、JADAから依頼があった場合はドーピング検査を実施していく予定ということなので、インカレ実施規則にドーピングに関するものを盛り込む。

また、今回の混乱は、学生側にアンチドーピングに関する知識がほとんどなかったことも大きな要因となっているので、日本学連及び各地区学連で、知識や情報の告知を積極的に行っていく。

## 3. インカレ一般の部・ミドル部門B決勝に関する申し合わせ

資料「インカレ一般の部・ミドル部門B決勝に関する申し合わせ」参照

前回までの議論を反映して、ちゃんとした書類としてまとめた。今回の話し合いで再度修正すべき箇所が見つかったが、基本的な部分はこれで大丈夫だろうということで、規定の制定を承認した。

## 4. オフィシャル登録資格規定の廃止

資料「賛助会員関連」参照

インカレのオフィシャル登録には条件があり、ほとんどの人が、賛助会員になることでその条件を満たしている。

### <現状>

- オフィシャル登録数 賛助会員数となっている(賛助会員のほとんどがオフィシャルをやるため、賛助会員に義務的に登録している)
- オフィシャル資格の照合のため、事務局や会計に大きな負担が生じている

### <問題点>

- オフィシャルのインカレ参加費が、賛助会員費用の分だけ割高となっている
- オフィシャルにかかるお金の一部を学生側で負担している大学も多いので、学生の負担を増やしている可能性がある

### <解決策>

- A) 規定を変えて、誰でもオフィシャルになれるようにする(ただし、オフィシャルの賛助会員費用の分だけ収入減)
- B) 照合方法を改善する(オフィシャルに関する規定はそのまま)

話し合い、採決を行った結果、今後は A)の方針で行っていくことに決定した。それに伴い、インカレ実施規定 4.6 a(オフィシャル参加条件)を消すことが承認された。

## 5. 賛助金の地区学連へのフィードバック廃止

資料「賛助会員関連」参照

現在、賛助会員の出身地区学連に対して、賛助会員 1 名につき 1000 円のフィードバックが行われている(関東学連以外)。この作業は年度が変わった後に行われるため、連絡や照合に時間がかかっている(年度途中で新たに登録される賛助会員もいるため、年度の途中にはやりづらい)。また、前議題の結論に伴い、フィードバックする金額がかなり小さくなることが予想される。このため、フィードバックを廃止しても良いのではないかという意見が出た。

この制度は賛助会員側からの希望で作られたものなのだが、学生側への金銭的な援助ということならば、大会などで募金を呼びかけた方が効率的という意見が出た。最終的に事務手続きの簡略化を優先し、フィードバックの廃止が承認された。

また、賛助会員数が少ないことに対しても議論が行われ、賛助会員になることで得られるメリットを増やしていく・より魅力的なものにしていく、という方針を普及部中心に行っていくことが決まった。

## 6. 会計業務の改善

資料「会計業務の改善」参照

e-bank 銀行については、個人でなくても使えるのか等の細かい点を確認していく。作業に関しては、これからどんどん詰めていく予定。

## 7. 平成 19 年度予算案

資料「2007 年度予算案」参照

## 8. 会計規則の改正

資料「会計運用細則の改正」参照

前回の幹事会で話し合った結果を正式な文章にまとめ、改正の承認を得た。

## 9. 会計報告

資料「2006 年度暫定決算」参照

2001 下野インカレの会計がまだ振り込まれていないので、請求していく。

## 10. 平成 19 年度新歓に関するガイドライン

資料「新歓に関するガイドライン」参照

総会にて各学校に配布し、来年度の新歓に役立ててもらおう予定。

## 11. 理事会報告

### 11.1. 矢板の地図(06 年度全日本大会用に作成)の費用について

<これまでの流れ>

当初、学連側がジェネシスマッピング(GM)に 150 万で依頼し、JOA に 120 万で売却する予定だった

(差額 30 万は地図販売で補う)。その後、地図作成費用が 180 万まで上がってしまったが、その分も学連側で補うということになった。

#### < 今回の報告 >

地図作成費用がさらに 70 万上がって、250 万円となった。この差額 70 万について、理事会・GM・JOA で話し合った結果、この 3 者で分けて負担することに決まった。今後、お金の手続きが色々出てくるので、事務局が協力していく。

### 11.2. 2008 年度春インカレの日程について

資料「JOA の動きに関する報告」参照

2009 年 3/3～9 にかけて、北海道でスキーオリエンテーリング世界選手権が行われるため、春インカレの日程が一週間遅れる予定。

### 11.3. 栃木県内におけるオリエンテーリング活動に関する規定改正

資料「栃木県内におけるオリエンテーリング活動に関する規定改正」参照

#### < 主な内容 >

平成 19 年 4 月 1 日より、栃木県内でオリエンテーリングを行う際には、参加者 1 人 1 日につき 100 円のテレイン管理料を納めることが決まった。また、栃木県内の既存 O-MAP の管理・作成・提供は、栃木県協会が行っていく(当面は所有団体の地図提供を認める)。

#### < 学連としての対応 >

テレイン管理料の納付を実施された場合、学生が一番被害を受けると考えられる。また、日本学連では栃木県内の O-MAP を多数所有していることも踏まえ、日本学連としては、この規定改正について単純には従えないという方針で行くことが決まった。そこで理事会と協力しつつ、特例の制定や今度のインカレロングでの対応について、栃木県協会に意見を求めていく。とりあえず、栃木県協会との話し合いが行われるまでは、学生側には協会の規定に従ってもらう予定。

## 12. 技術委員会報告

ユニバーの報告書作成

学連合宿の開催

インカレへの協力

## 13. TCWG 報告

資料「インカレ進捗状況」「2007 年度学生オリエンテーリング選手権大会ミドルディスタンス・リレー競技部門実行計画書」参照

## 14. 各部局報告

#### [事務局]

東北大大会の後援申請 承認

地図販売(一部で不備があったので、今後は注意しておこなっていく)

#### [普及部]

インカレ・後夜祭ガイドの作成

新歓に関するガイドラインの作成(議題 10 参照)

**[ 事業部 ]**

インカレでの各学校への仕事の割り振り

後夜祭・講習会の準備

来年度春インカレでの宿のシミュレーション実施を依頼(インカレ実行委員会へ)

**[ 広報部 ]**

特になし

## 15. 地区学連活動報告

資料「地区学連活動報告」参照

## 16. その他

### 16.1. ジェネシスマッピング(GM)の社長が学連の理事長となっている件について

**< 背景 >**

学連は、GM と 5 年間の業務委託契約に基づいて年間数百万円の受注を行っており、その GM のトップが、学連の理事長を務めるのは利益相反行為の恐れがある。また、今後のインカレコスト削減のためには GM への発注内容見直しは必至であり、そのためにも両組織のトップの兼任は解消すべきだと思われる。

**< 活動方針 >**

現状では上田さん以外に理事長を引き受けてくれそうな人はいないらしいので、まず、理事長の仕事を整理・細分化していく。その後、細分化した仕事を各理事に割り振るなどしていく予定。

### 16.2. 諮問委員会の設置について

資料「諮問委員会設置について」「諮問委員会規則案」参照

まずは臨時委員会として発足してもらう(活動が出来てきたら常設委員会になってもらう)。規則については一部修正していき、6 月の幹事会での承認を目指す。また、来年度の予算はなしとして、予備費から随時支出していく。

### 16.3. インカレネクストの活動内容

まずはインカレ会計を中心に活動を行っていく(予算の見直し・会計ガイドラインの作成)。体制が整ってきたら、その他の活動も行っていく。

### 16.4. インカレ報告書印刷費用について

GM から印刷の各工程でかかる費用について返答があった。今後、各工程での費用について交渉を行っていく。

### 16.5. 次期副幹事長の承認

西村(京都 3)を次期副幹事長として承認した。

## 17. 次回幹事会日程

東大大会前日(6/2)、会場近辺で行う予定。